R.i.Distric 2610, ROTARY CLUB OB UOZU

魚津ロータリークラブ会報誌

2015－2016年度　ＲＩ 会長　K.R. ラビンドラン

2015－2016年度　魚津RC会長　羽田 陸朗

第3011回　例会　2016年 3月 18日

1、点鐘・握手

2、ロータリーソング 「我等の生業」

3、ゲスト並びにビジターの紹介　なし

4、誕生日祝い

3月23日　稲盛夫人

こんにちは、今日は妻節子の誕生を祝って頂き、ありがとうございます。一緒になってから何年経ったか忘れるようになりました。孫も今年から大学に行くようになりました。ありがとうございました。

5、会長挨拶（羽田会長）

・稲盛さんの奥さんの誕生おめでとうございます。

・最近マウスの実験の結果がマスコミに報じられました。マウスをアルツハイマーにさせてそのマウスにある刺激を与えたら忘れていた記憶が出て来たという報道でした。

これまでも言われていたことですが、初めて実験で説明されました。

脳の海馬が委縮し、記憶がおぼつかなくなる病気です。

アルツハイマーのマウスの目にある光を当て、脳に刺激を与えると記憶がぱっと戻ってきたという。

・心臓病・脳血管障害・癌が死因の三大要因でした。

それぞれの分野で治療が進歩しています。

数年前、京都大学の名誉教授の先生が「30年後には、三大要因の治療が進歩し、死ぬことはないだろう」と講演されました。

しかし、残っているのは認知症などの精神的分野である。」と言われました。

今回その分野の研究発表がされたわけです。

やがて、その治療法が分かるのではと期待されています。

・今月末日の締め切りですが、日台国際会議が金沢で開催されます。是非とも、皆さん参加してください。

6、幹事報告（川岸幹事）

・3月20日　富山第一分区IMが黒部で開催されます。

魚津RCより 10名参加します。

・3月25日　例会は魚津西RC会長エレクト交換卓話です。

多数の参加お願いします。

7、出席報告（　青山　出席副委員長）

・本日の出席　22名、　欠席　9名、　出席率　70．0％です。

・3009回のメークアップは無しで、修正出席率は変わらず、90．0％でした。

8、ニコボックス（平﨑ニコボックス委員）

・稲盛さんより、楽しく広島の　iM（菌）大会に参加しました。
・野沢さんより、私は結婚して43年経ちました。
「43年間、忍の一字であった」と奥さんに言ったら、
「私がすべて、私がしてきました」と奥さんが答えました。
それもそうだな～と思いました。

9、卓話　稲盛さん　　テーマ「時と時間」

・皆さん　こんにちは。私はロータリーに出席させてもらうとボケ防止、そして皆さんのお顔を拝察し、意見を聞かせてもらって、本当にロータリーに入れてよかったな～と喜んでいます。

・私は隠居をして、はや8年になります。あまりにも自由すぎて時間を持て余すかと思っていました。
それが毎日あっという間に1日が終わり、夕方になるとすぐ布団が恋しくなる毎日です。
・朝、目が醒めるとすぐにすることは新聞を読み、天地人ノート鉛筆、消しゴム、はさみ、のり、拡大鏡のセットを準備することから始まります。書き写しを含め約Ｉ時間余りかかります。
前日の出来事をメモリ、文章の中の漢字を書きただすことをして、もう3年になります。
・また、従業員の出社前に70坪はどの仕事場を温めるのが私の仕事です。直径1m、高さ120cmほどの薪ストーブに薪を入れ火をつけてから約2時間で25度ほどになります。
真冬でも半袖で過ごしています。
・旅行も大好きです。2月はロータリーの台湾旅行に参加させてもらい、今月は全国EM交流会イン広島大会に参加してきました。北は北海道、南は沖縄まで全国の仲間から新しい知識と交流を深めました。約800人のEM仲間が集まりました。
魚津駅から富山、新大阪、広島と乗り継ぎ、車中では小説、土佐堀川（作者古川智映子）を読みあさり、NHKドラマ「朝が来た」を思い出しました。
365日の紙ヒコウキの歌詞は大好きです。
朝の空を見上げてから始まり、ずーっと見ている夢は、私がもう一人いて、やりたいこと、好きなように、自由にできる夢、人生は紙ひこうき、願いのせて、飛んでゆくの、風の中を力の限り、ただ、心の中に、365日、飛んでゆけ、飛んでみよ、飛んで行け、飛んでみよ。
と口ずさみながら毎日見ています。
そんなこんなで7時間余りの広島までの旅でした。夜になると広島名物カキお好み焼き食べ放題、飲み放題と8人のメンバーで満喫しました。
翌日、広島近代美術館、3日目には福山市の平山郁夫美術館とあっという間の3泊4日の旅でした。
魚津に帰ると、まず元気、楽しかった？！！と声がかかり、この声でまた元気が出てきます。これも家族、従業員やみんなに見守られてのおかげと感謝をしています。
週2回のピンポンで汗を流し、また今シーズンは5度ほどしかスキー場に出向くことができませんでしたが、雪は大好きです。
・これからの余生は一に健康、二に健康、そして家族に迷惑をかけないよう、ボケないように、お客様からは、「米もたまごも、なんちょおいしいがけ・・」という言葉で、また元気が出てきます。

・営農組合で今年もジャガイモ祭りを予定しています。
その畑にぼかし、鶏糞、EM発酵液を散布して、おいしいジャガイモを目指して張り切っています。ぜひその節は、芋ほりに家族ぐるみで、ご参加お待ちしています。
・ご清聴有難うございました。

(2)DVD「魚津の食材で簡単クッキング」(魚津市健康センター　森岡さん発表)
(森岡さん)今日は稲盛ファームへやってきました。県下でも評判です。何ででしょうか？
(稲盛さん)うちは他の養鶏場と違って微生物というか、EM菌の乳酸菌を主とした菌を使っています。また、餌に魚、海藻、サンゴの化石、すりごま、広島の牡蠣、ニンニク、EMのセラミック、飼料米、EM菌で発酵させたサトウキビの糖蜜等です。三つの特徴があります。「品種」と「えさ」と「水」です。水はイオン化された「磁気水」です。
(森岡さん)苦労された点は何ですか？
(稲盛さん)近所の皆さんと仲良く、迷惑をかけないように気を使ってきました。
(森岡さん)一日の生産量は？
(稲盛さん)一日に10，000～15，000個を生産し、直売所で直接売っています。
(森岡さん)それでは、稲盛さんの卵を使った簡単でヘルシーな料理、小松菜の巣ごもり卵料理を紹介します。(略)
(稲盛さん)試食し、「こりゃ～、なんちゅう～、うまいがけ～」でした。皆さんも調理しては、如何ですか。

(3)質問
・EM菌とは、effective（効力のある、有効な）とmicro－organicity（有機体、生物)を略してあります。
・EM菌には、抗酸化作用があり、機械が錆びない力があります。
・EM菌の培養には、入善の深層水を使っています。
＊とにかく、EM菌のおかげと感謝しています。
ありがとうございました。

[　あとがき　]
・木々が芽吹き、万物が躍動する時候になりました。

今年の彼岸入りは　3月17日で彼岸明けは　3月23日でした、その中日　3月20日が春分の日で　昼の時間と夜の時間が同じ時間となり、それ以後は昼の時間が長くなっています。彼岸の中日は、先祖のお墓詣りが全国で行われています。
・その時に読まれているのが、「般若心経」「阿弥陀経」などのお経です。
お経の字は　織物の経糸(たていと)を表していると言われています。
暑さ、寒さや外敵から体を守る「衣」は　衣食住の最初にあげられるほど大切なものです。

・今年の2月、ミヤンマーのほぼ中心にある古都・マンダレイ―より南西へ飛行機で約35分、旧日本軍も使用したヘーホー空港に着きます。インレー湖に到着しました。
空港からバスに乗り継いで30分、インレー湖に到着します。湖の大きさは、

・乾季（12月上旬より3月中旬）は、南北15km，東西6km、水深2mほどの細長い湖です。
そこにチベット・ビルマ語派のインター族で熱心な仏教徒が湖上生活をしています。
日本人と間違うほどそっくりで浮草農業で野菜や蓮を収穫し生計をたてています。
その村では、蓮根の茎から採れる繊維で「布」を織っていました。

・蓮の茎から繊維を取る

日本人そっくり

経糸と横糸で織物を作る

・目の前で見ると、織物は「たて糸」と「よこ糸」があるから出来ていると　よく判りました。
考えてみれば、私たち人間社会も「経糸（たていと）」と「緯糸（よこいと）」で
成り立っていることにきづきます。私のとって人生の織物は、
「経（たて）糸」は、ご先祖様であり、長くお付き合い頂いている大切なお客様であり、
　諸先生・諸先輩など数えきれない先人たちから教えを頂いていることであります。
「緯（よこ）糸」は、家族であり、友人であり、お客様であり、先生であり、ロータリーの会員
　の皆様であり、地域の皆さんであり、現代に生きる皆々様であり、自然も含まれるのでは
と思います。
このように考える時、勿論　一人では生きられない　弱い人間だな～と気付かされます。
さて、ロータリークラブの皆さんの大切な「たて糸」と「よこ糸」で織りなす「織物」はどうでしょうか。
彼岸を迎え、改めて思いを致しました。

・ポールハリス語録ーその18（2013年6月2日配信）

文明の栄枯盛衰は人間の思慮の有無によって決まります。 人類または国家のできる最大のことは、個人または国家の思慮を促すことです。 （ロータリアン誌、1916年2月号）